湘南教組ニュース

No.１２３６
２０１７．９．４

今回の教組ニュース

今年の夏も、湘南教研！・・・・・・・・・・・・１～３
東北支援のご協力ありがとうございました
気になる私たちの給与は？・・・・・・・・・・・・・・・４
湘南ピース通信２０１７・・・・・・・・・・・・・・・・５
沖縄スタディーツアーで、有意義な夏！
鎌倉・藤沢、全体交渉では・・・・・・・・・・・・・・６
産休・育休者応援セミナー
再任用教職員学習会・交流会
被災地支援のとりくみ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・７
執行部のつぶやき
当面の活動予定・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・８
震災ボランティア活動参加者募集
教職員スポーツ大会のお知らせ

第 67 次湘南教研　話そう 悩もう 考えよう
～教研の意義って？～

８月１９日（土）、鎌倉市立玉縄中学校を会場に、第６７次湘南教育研究集会を開催しました。

今年度も「話そう　悩もう　考えよう」をテーマに、各分科会で推進委員の司会により、実践発表やそれにもとづく活発な討議が行われました。また、昨年に引き続き、道徳の学習会も行い、教科書、評価についての問題点と現場の課題について、参加者で考えました。

参加者からは**「フリーに話せる仲間を増やせるよい機会として教研がんばりましょう」**という前向きな感想が聞かれた一方で、**「教研は必要ですか？」「意義は？」**という意見もいただきました。

この教育研究集会は、国や県が行う研修とは違い、**「現場の教職員がボトムアップ方式で築く、柔軟で、学校現場の実態に即した教育」**を行っていく、組合活動の根幹となる活動です。

また、教育条件、民主的な学校づくり、PTA や地域連携など、**「学校のあらゆる場面や課題について、議論・共有する場」**は、教研にしかありません。

多忙な職場環境の中、教研の場がそうした役割を担えていないこともあると思います。

「実際に子どもたちを目の前にしている私たちが、子どもの様子や実情をふまえた教育実践を現場から上げていく」

その役割を担っていけるような教研を一緒につくっていきましょう。

最後になりましたが、会場の提供、そして前日の準備から当日の片付けまでお手伝いいただいた玉縄中学校の皆様に、厚く御礼を申し上げます。

参加者の声

・**中学の先生に直にお話が聞けて**とても良かったです。中学の先生の言葉にホッとしたり元気づけられました。（発音？まあ、ちょっとちがってもいいんですよ。アルファベット書けなくてもいいですよ。明るくやってください。etc）
【外国語教育】

・もっと平和について知りたいと思い、１日参加しました。どの学校の発表も協議の内容も勉強になりました。**新たな視点が生まれました。**
【平和・解放教育】

・ユニバーサルデザインのとりくみは、様々な面で統一をはかることで、児童も安心して学校生活を送ることができると考えてきました。ですが、他の地域の方々のお話で、**「キチッとはまったことが苦手な子もいる」**と言われ、なるほどなと思いました。**全ての児童に応じた学校づくりは難しく、常に考えていくことが大切**だなと改めて感じました。　【「障害」児・者教育】

・グループ討議の時間がとても有意義でした。私は**養護教諭ですが、一般の先生方を交えて話し合えることはお互いにとって研鑽を積む**ことになります。　【保健・体育科教育】

・教科の分科会だと、校内研をそのまま発表するとことが多いのではないか。**（教研は）本来、自分たちがやりたいことを研究してみんなで協議をするものだと思う**が、今は形骸化していると感じる。組合としてやる意義、必要性をもっとアピールしてほしい。

・発表した上で、話し合ったり、考えたりさせたいなら、もう少し各分科会で**作戦が必要**だと思います。

・「性とは何か」をたくさん考えました。大切なのは、自認の性なのだと。それにしても**学校はこんなにも多くの場面で男と女に分けているのか、と思いました。**改めていかないといけないなと思いました。　【男女の自立と共生】

・実践やアイデアが聞けて、とても参考になりました。来て良かったなと思います。**教科に関することがもっと増えると良い**のになと思います。
【音楽教育】

・作品研究も、ワークショップも楽しかったです。美術教育、他の人にも広めたいと思います。
【美術教育】

県教研の日程・参加レポート決定！

第６７次県教研「かながわ教育フェスティバル２０１７」に湘南から発表するレポートも決まりました。

１０月２１日（土）全体会
会場：相模原市民会館
記念講演　『わた詩の絵本』
講師　内田　麟太郎さん（絵本作家）
『おれたちともだち』シリーズ等代表作多数

１０月２９日（日）分科会
会場：大和市立光丘中学校
・分科会（湘南より３５本のレポート）
・ワークショップ　・特別分科会
・展示ブース　　を開催します。

来年度からの小学校道徳の教科書決まる！

小学校「特別の教科　道徳」が来年４月から全面実施されることから、８月、湘南３市１町の教育委員会臨時会が開かれ、来年度から使用される小学校「特別の教科　道徳」の教科書が採択されました。採択された出版社は、以下のとおりです。

2018年度使用 小学校「特別の教科道徳」教科書		
鎌倉市	7/19採択	光村図書
藤沢市	8/２採択	光村図書
茅ヶ崎市	8/３採択	東京書籍
寒川町	8/４採択	光村図書

この間、それぞれの教育委員会は、教科書展示を行い、各学校、審議委員（校長および保護者の代表者）及び調査員（教員の代表者）による調査研究を諮問し、審議委員会の答申を受けました。それらをふまえ、教育委員会臨時会で採択について協議されました。「実際に使う学校の先生の意見を尊重することが大切」「多面的、多角的に考えられる教材が好ましい」など、現場の声を尊重する教育委員の発言がありました。その結果、議論で多く取り上げられた出版社が採択されました。

「こんなことを大切にしたい」～湘南教研道徳学習会から

今回、湘南教研の中で、「特別分科会　道徳」を開催しました。はじめに、２つの分会からレポート報告を受け、道徳の教科化にともなう問題点や実践で大切にしたいこと、一つのクラスにいろいろな教員が道徳の授業を行っていくことなど、発表がありました。

次に、東洋大学講師の永田裕之さんを共同研究者としてお招きし、会場の参加者とともに、「道徳をやっていくのにこんな不安があるんだけど」「道徳でこんなことを大切にしたい」などについて、話をしました。子どもの実態に応じた身近な教材、多面的・多角的に考えられるような子どもたち同士の対話、子どもの学習状況を記録していくポートフォリオ評価など、話題に挙がりました。教科となる道徳の実践について不安を抱えるものの、子どもの実態を大切にすることについて、参加者で共有することができました。

小学校では来年度から、中学校では再来年度からの「特別の教科　道徳」の実施をふまえ、湘南教組は、今後も学習会を行い、道徳の実践や評価について、現場の組合員のみなさんと一緒に考えていきたいと思います。

東北支援のご協力ありがとうございました！！！

今年も湘南教研各分科会会場にて、東北支援の義捐金を募らせて頂きました。皆様のご協力により、１６０，６３０円の義捐金が集まりました。この紙面をお借りして、お礼申しあげます。この義捐金は震災ボランティア活動（10月14～15日）の際に福島県教組に届けます。

2017 人事院勧告　月例給＋0.15%・一時金＋0.1 月

4 年連続の引き上げに向けて好発進！

人事院は８月８日、国家公務員の給与に関する勧告を、内閣と国会に提出しました。今後、公務員連絡会が内閣人事局や大臣等と交渉をし、政府が人事院勧告の取扱い方針を閣議決定して、国会に法案が提出され、可決・成立して決定していきます。

私たち地方公務員の給与は、国家公務員の給与などとの均衡も考慮し、神奈川県の人事委員会が知事・県議会に対して給与勧告を行います。国段階では引き上げの勧告が出ましたが、私たちに直接関係する県段階での交渉は、まさにこれから始まります。月例給アップ、臨任・非常勤・再任用教職員の処遇改善に向けて、署名や寄せ書きなどのとりくみが重要になります。

国家公務員の給与勧告のポイント

月例給・ボーナスともに引き上げ

① 民間給与との較差（631 円　0.15%）を埋めるため、俸給表の水準を引上げ

② 一時金（ボーナス）を 0.1 月分引き上げ勤勉手当に配分する（4.30 月分→4.40 月分）

		6 月期	12 月期
2017 年度	期末手当	1．225 月（支給済み）	1．375 月（改定なし）
	勤勉手当	0．85 月（支給済み）	0．95 月（現行 0.85 月）
2018 年度以降	期末手当	1．225 月	1．375 月
	勤勉手当	0．90 月	0．90 月

給与制度の総合的見直し

① 本府省業務調整手当の手当額を引き上げ

② 経過措置の廃止等に伴って生ずる原資を用いて、若年層を中心に、平成 27 年 1 月 1 日に抑制された昇給を回復

２０１８年度、国の教育予算（概算要求）

文科省、教職員定数 3800 人増を要求

文科省は、8 月 30 日、2018 年度教育予算（概算要求）について公表しました。中央教育審議会で議論された、長時間勤務の是正に向けた教員の働き方改革を踏まえ、教職員定数の改善として、3800 人の教職員増を求めています。

市町村立学校の教職員の給与は、国が義務教育を支えるという意味合いから、1/3（残りの 2/3 は県の負担）を負担しています。そのため、教職員定数を改善するには、国の教育予算の拡充が重要となります。

国の教育予算は秋の臨時国会で審議されることから、教育現場出身の「なたにや 正義」議員らの活躍が期待されます。子どもたちに豊かな学びを育むために、子どもと向き合う時間を確保する観点から、教職員定数の改善は大切です。湘南教組も、引き続き、とりくみをすすめていきます。

気になる話題のニュースを
サクサク読める！

湘南ピース通信 2017

連載第２回　共謀罪はダメ！絶対！②

DID YOU KNOW?

前回からの続きになりますが、現在、政府は何らかの**準備行為がないと処罰しない**と言っています。しかし、準備行為と言っても、ATM でお金を引き出すとか、そんなごく日常的な、**犯罪に関係ないと思われることまで準備行為**とされるのです。意見の中には、「**テロを未然に防ごう**と思ったら、**それくらいのことは必要**なのでは？」という声もあります。ですが今でも、**テロ関係の条約を13本も批准しています**し、それに対応する法律がたくさんあります。政府は、テロリストがハイジャックする目的で航空券を予約する行為は今の法律では対応できないから、**共謀罪が必要**だと説明しています。ですがそれは全くの間違いです！今でも**ハイジャックを処罰する法律はあり**、取り締まることは可能です。

政府は、国会で、現行法上適確に対処できないと考えられるテロ事案として、「テロ組織が複数の飛行機を乗っ取って高層ビルに突撃させるテロを計画した上、例えば、搭乗予定の航空機の航空券を予約した場合」を挙げています。しかし、航空機の強取等の処罰に関する法律では、予備行為も処罰対象としており、同法の解説本では、**ハイジャック目的での航空券の購入や空港へ向かう行為自体が予備行為に該当し、処罰の対象となる**とされています。さらに、政府は、「テロ組織が殺傷能力の高い化学薬品を製造し、これを用いて同時多発的に一般市民の大量殺人を行うことを計画した上、例えば、殺傷能力の高い化学薬品の原料の一部を入手した場合」も現行法で対処できないと説明していますが、この事案は、**殺人罪の予備行為として、現行法で処罰可能**と考えられます。また、**テロ対策の条約を締結するために共謀罪が必要**という説明もありますが、**政府が言っている条約はテロ対策目的の条約ではありません。**それから、以前は条約を締結するには６００以上の共謀罪が必要だと国会で答弁していたのに、最近になって「もっと絞れます、絞れます。」と言い出しています。**政府の説明はいい加減なのです！！**

この続きは連載第3回をお楽しみに！！

沖縄スタディーツアー2017

出発３日前、ノロノロ台風が沖縄を直撃する！という予報、、、担当和田としては「これは中止だな」と諦めモードで当日を迎えましたが、見事に台風は逸れ、無事に開催することができました！（結局３日間晴れた！）初日は**「ひめゆりの塔」「平和祈念公園」「糸数壕（アブチラガマ）」**を見学し、沖縄の歴史に触れ、２日目は**沖縄を各自で満喫。**３日目は**沖縄県教組の方々に依頼をして、沖縄県の平和教育についてお話をしていただく学習会**を開催しました。**（初の試みでしたが大成功！！貴重な現地でのお話が聞けました！！）**最後は**普天間基地を高台から見学**し、ツアーは無事終了！**35名も参加者**がいたので、詳しいツアーのお話は**ぜひ参加した方々から直接聞いてみてください！**とてもここだけでは伝えきれない！今年研修に参加できなかった方も、**来年ぜひ参加してくださいね！**

鎌倉市との全体交渉

８月２日に、鎌倉市教育委員会と「教育施策・予算に関する全体交渉」を行いました。

湘南教組からは、「新たなとりくみについて事前協議を湘南教組と行うこと」「２０１８年度の重点施策はどんなことなのか」「次期学習指導要領についてどう対応していくのか」「勤務実態改善について早急に対応する必要があること」の４点について意見や質問を行いました。

市教育委員会からは、「事前協議をするとともに委員会にもご理解、ご協力をお願いしたい」「中学校給食をスムーズにすすめることや道徳、英語については計画的にすすめること、学校配当予算については厳しいが、包括予算制度を活用しながら予算減にならないようにしたい」「次期学習指導要領の検討委員会を立ち上げ、協議し、今年度中に方向性を示したい」「アンケートの集約を早急にし、子どもと向き合うための時間を確保したい」といった回答がありました。

今後、９月下旬の教育委員会指導課や学務課等との「各課交渉」、さらに 11 月に全ての分会長が要求をする「全分会交渉」を行っていきます。

藤沢市との全体交渉

８月 11 日に、藤沢市教育委員会と「教育施策・予算に関する全体交渉」を行いました。

執行部から①教職員の健康確保、快適な職場環境の実現、②教職員の多忙解消、③インクルーシブ教育に向けた条件整備、④休職等に際する代替者の確保、⑤臨時的任用・非常勤・再任用教職員及び市費講師の勤務条件の周知などについて要求しました。

その結果、市教育委員会からは次のような回答がありました。

- 子どもたちが笑顔で元気に通える学校、教職員が笑顔で元気で働ける職場作りに向けて、最善を尽くしていく。
- 小学校の児童支援担当の配置、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーの配置の充実など、教職員の負担軽減にとりくんでいく。
- 労働安全衛生管理体制を軸に、教職員の安全と健康の確保、働きやすい職場環境づくりにとりくんでいる。今後も、勤務実態把握につとめ、さらに改善・努力するとともに必要に応じて国、県等にも働きかけていく。

今後も引き続き、各課要求、分会要求などの場で、具体について、話をしていきます。

再任用教職員
学習会・交流会

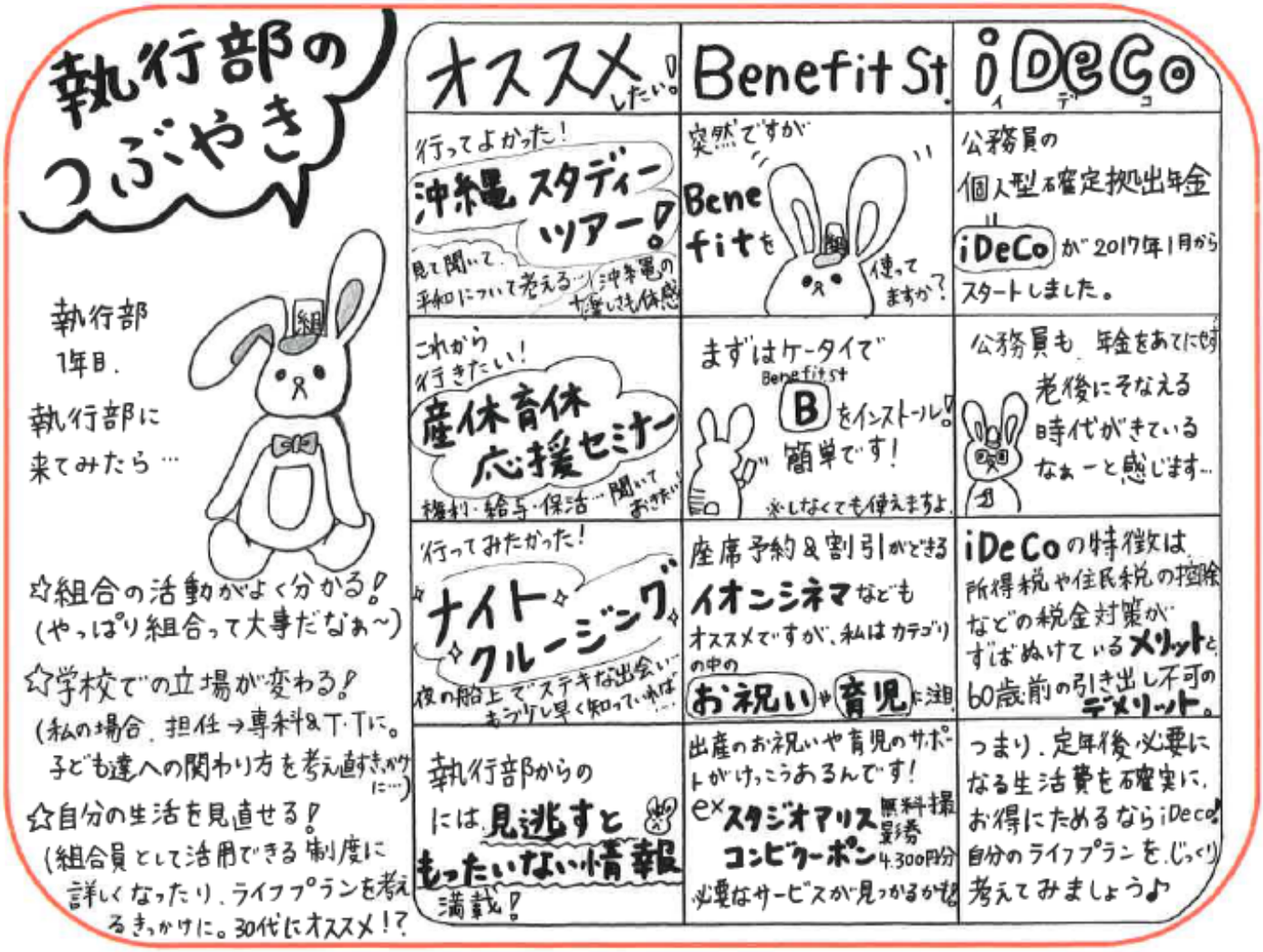
日時：2017年9月26日（火）18時
場所：湘南教育会館

定年退職後の雇用形態への不安を少なくすること、当事者同士の情報交換などを目的に、学習会・交流会を行います。これから定年退職を迎える教職員と定年退職後、現在働いている教職員が対象です。

産休・育休者
応援セミナー

日時：2017年10月28日（土）10時
場所：湘南教育会館

安心して産休・育休に入ってもらうこと、産休者や育休者が職場に不安なく復帰できることを目的にセミナーを開催いたします。すでに産休・育休に入られている方、その予定の方が対象です。男性の方の参加もOKです。



被災地支援のとりくみ

今年度も７／28～31 までの４日間、NPO 法人こども達に未来を in 湘南が主催する、福島の子どもたちを湘南に呼ぼう！プロジェクトに参加しました。福島県南相馬市から、小・中学生とその家族（25 名）を招待し、BBQ やヨット体験など湘南の地でのんびりと過ごしてもらうことができました。台風の影響からか、波が高く、地引き網は中止となりましたが、江の島水族館でボランテイアの人たちと一緒に楽しむことができました。湘南教組の組合員も８名お手伝いいただき、また、カンパのほうも 355,553 円集まり、寄付することができました。ありがとうございました。

また、８／５には神奈川県ユニセフ協会が主催する、東日本大震災によって非難を余儀なくされている子どもたちの支援を行う、「守りたい・子どもの未来プロジェクト」に参加しました。キャンプ座間内で、芝滑り、お面づくり、流しそうめん等で交流しました。子どもたちの笑顔が溢れる時間となりました。

神奈川県教職員スポーツ大会

11月11日(土)今年は陸上競技！

IN 大和スポーツセンター競技場

☆親子でも参加できる！

☆チアリーディングショーもやってくる！

☆種目はたくさん！☆未経験でも大丈夫！

お気軽トライ枠で、公式トラックの記録をとってみませんか？☆お昼は弁当がもらえる！

種目 60m走 100m走 400m走 1500m走走幅跳・走高跳・砲丸投・リレーム力デ競争・大縄とび他、スタンドでのゲームもあり！

みんなで参加しよう！

第12回震災ボランティア活動

東日本大震災や原発事故を風化させないため、自分の心や体で現状を直に感じに行きましょう！ご参加をお待ちしています！！

費用　１２,０００円

申し込み方法　申込用紙（各分会に配付済み）をFAX又は湘南教組書記局に持参

日時　2017年１０月１４日（土）～１５日（日）

場所　福島県福島市・浪江町、双葉町方面（フィールドワーク）、相馬市小高方面（ボランティア活動）

※内容は予定です、詳細は説明会でお知らせします。
※申し込み後のキャンセルは極力ご遠慮ください。
※ボランティアは自己責任・自己完結が原則です。
※安全性は確保されていますが、湘南地区と比べ放射線量が高い場所があります。ご理解の上ご参加ください。